

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画書

2023年 6月 29日

大阪市長 殿

提出者

住所 大阪市中央区内本町2-2-10

氏名 エクシオグループ株 関西支店

戸谷 典嗣

（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）

電話番号 06-6360-4144

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	エクシオグループ株式会社 関西支店
事業場の所在地	大阪市中央区内本町2-2-10
計画期間	2023年4月1日～2024年3月31日

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

①事業の種類	08：設備工事業
②事業の規模	2022年度 工事完成額 239億
③従業員数	491人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	認定産廃処理業者へ委託 一般廃棄物⇒再生処理業者・中間処理業者に委託して再資源化 混合廃棄物⇒中間処理業者に委託し、選別破碎、再資源化

（日本工業規格 A列4番）

(第2面-1)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

関西支店長 (廃棄物処理統括責任者)

↓  
関西支店 安全品質管理部(産業廃棄物管理担当・技術センタ統括部門)

↓  
技術センタ (所長・工事現場管理責任者・産業廃棄物管理責任者・特別管理  
産業廃棄物管理責任者)

↓  
各工事現場 (現場代理人)

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（2022年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	アスコンがら	コンクリートがら
	排 出 量	693.69 t	332.63 t
(これまでに実施した取組)			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・分別保管の徹底管理</li> <li>・収集運搬・中間処理業者の契約時の許可番号・有効期限確認の徹底</li> <li>・混合廃棄物の分別可能業者による再生</li> </ul>			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	アスコンがら	コンクリートがら
	排 出 量	350 t	300 t
(今後実施する予定の取組)			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・例年通りの取組み施策にて、排出量を1000 t以下に抑えることが可能である。</li> </ul>			

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・分別保管の徹底管理</li> <li>・混合廃棄物の分別可能業者による再生</li> </ul>
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・上記施策を継続的に実施</li> </ul>

### 産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

#### ①現状

その他のがれき類	建設系混合廃棄物（安定型）	廃プラスチック類	金属くず
45.31 t	92.98 t	25.319 t	12.517 t

#### ②計画

その他のがれき類	建設系混合廃棄物（安定型）	廃プラスチック類	金属くず
45 t	85 t	25 t	10 t

## (第3面-1)

## 自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

【前年度（ 年度）実績】	
①現状	産業廃棄物の種類
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量 t t
(これまでに実施した取組)	
【目標】	
②計画	産業廃棄物の種類
	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量 t t
(今後実施する予定の取組)	

## 自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

【前年度（ 年度）実績】	
①現状	産業廃棄物の種類
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量 t t
	自ら中間処理により 減量した産業廃棄物の量 t t
(これまでに実施した取組)	
【目標】	
②計画	産業廃棄物の種類
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量 t t
	自ら中間処理により 減量する産業廃棄物の量 t t
(今後実施する予定の取組)	

## (第4面-1)

## 自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

		【前年度（ 年度）実績】		
		産業廃棄物の種類		
		自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	t t	
①現状		(これまでに実施した取組)		
		【目標】		
		産業廃棄物の種類		
		自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	t t	
②計画		(今後実施する予定の取組)		

## 産業廃棄物の処理の委託に関する事項

		【前年度（ 2022 年度）実績】		
		産業廃棄物の種類	アスコンがら	
		全処理委託量	693.69 t 332.63 t	
		優良認定処理業者 への処理委託量	t t	
		再生利用業者への 処理委託量	693.69 t 332.63 t	
		認定熱回収業者 への処理委託量	t t	
		認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者 への処理委託量	t t	
①現状		(これまでに実施した取組)		
		・産業廃棄物を再生処理できる業者を選択し、書面による契約を実施する。		

(第4面-2)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状

t	t	t	t

②計画

t	t	t	t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

その他のがれき類	建設系混合廃棄物（安定型）	廃プラスチック類	金属くず
45.31 t	92.98 t	20.319 t	25.319 t
t	t	t	t
45.31 t	92.98 t	20.319 t	25.319 t
t	t	t	t
t	t	t	t

## (第5面-1)

【目標】			
②計画	産業廃棄物の種類	アスコンがら	コンクリートがら
	全処理委託量	350 t	300 t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	350 t	300 t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
(今後実施する予定の取組) ・優良認定処理業者から選定する。 ・電子マニフェストの導入を進める為、電子マニフェスト対応な処理業者から選定する			
※事務処理欄			

(第5面-2)

②計画

その他のがれき類	建設系混合廃棄物（安定型）	廃プラスチック類	金属くず
45 t	85 t	25 t	10 t
t	t	t	t
45 t	85 t	25 t	10 t
t	t	t	t
t	t	t	t

## 備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
  - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
  - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額(前年度実績)、建設業の場合における元請完成工事高(前年度実績)、医療機関の場合における病床数(前年度末時点)等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
  - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程(当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。)を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「一」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。